

# ～ 第8回那覇市議会報告会 ～

市民と 議員で、ゆんたくさびら！

## 説明資料

ページ番号

○議長挨拶	
○プログラム	----- 1
○班名簿（議員名簿）	----- 2
○第7回議会報告会における市民からの要望等の報告についての対応	--- 3

### ☆第1部「議会報告会」（19：00 ～19：25）※別紙

- ① 12月定例会概要報告
- ② 総務常任委員会審査報告
- ③ 建設常任委員会審査報告
- ④ 教育福祉常任委員会審査報告
- ⑤ 厚生経済常任委員会審査報告

### ☆第2部「意見交換会」（19：25 ～ 20：30）

- 意見交換

主催 那覇市議会

## 議 長 挨 拶

新年、あけましておめでとうございます。

第8回那覇市議会報告会の開催にあたり、那覇市議会を代表し一言ご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、日頃から本市議会に関心を寄せられご協力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

議会報告会は、議会で行われた議案等の審議の経過と結果について市民の皆さまに報告をするとともに、市政全般に関する課題について意見交換を行うものであります。

平成25年4月の第1回開催から、第7回まで、計837名の市民の皆さまがご来場され、貴重なご意見、ご要望を賜りました。このうち、特に重要なものについては、議長から市長へ報告し、実際の事業などへ反映させてまいりました。

議会では、市民に開かれた議会づくりのために、これからも市民の皆さまの多様な声をお聞きすることが重要だと考えております。

本日の議会報告会では、「市民との意見交換会」を大きなテーマとし、市民の皆さまからのご意見などを拝聴し、意見交換をする中で皆さまと一緒にこれからの那覇市について考えていきたいと思っております。

本日の議会報告会が、市民の皆さまのご参加により、議会改革に向けた実り多きものとなるものと大いに期待申し上げます、開催にあたってのご挨拶といたします。

那覇市議会議長      翁 長 俊 英

## 第8回那覇市議会報告会プログラム

## ☆第1部「議会報告会」(19:00 ~19:25)

所要	内 容
2分	開会あいさつ
23分	テーマ：平成28年12月定例会の報告について
	① 12月定例会概要報告 ② 総務常任委員会審査報告 ③ 建設常任委員会審査報告 ④ 教育福祉常任委員会審査報告 ⑤ 厚生経済常任委員会審査報告

## ☆第2部「意見交換会」(19:25 ~ 20:30)

所要	内 容
63分	意見交換
2分	閉会あいさつ

## ★開催日時・地区・会場

日 時	地 区	担当班	会 場
1月19日(木) 19時~20時30分	本 庁	1 班	なは市民活動支援センター (銘苅2-3-1)
	小 禄	2 班	鏡水ふれあい会館 (字小禄909-4)
1月20日(金) 19時~20時30分	真和志	3 班	真和志支所 会議室 (寄宮2-32-1)
	首 里	4 班	首里支所 会議室 (首里久場川町2-18-9)

「議会報告会 班名簿」

1班

	班長	議員名	所属委員会	所属会派
1		我如古 一郎	総務	日本共産党
2		前泊 美紀	総務	無所属の会
3		平良 仁一	厚生経済	新風会
4		亀島 賢二郎	総務	なはの翼【無所属G】
5		喜舎場 盛三	建設	公明党
6	○	平良 識子	教育福祉	沖縄社会大衆党
7		大浜 安史	教育福祉	公明党
8		金城 敏雄	厚生経済	自民党

2班

	班長	議員名	所属委員会	所属会派
1		渡久地 政作	建設	新風会
2		坂井 浩二	教育福祉	なはの翼【無所属G】
3		多和田 栄子	教育福祉	社民・市民ネット
4		奥間 亮	総務	自民党
5		湧川 朝涉	厚生経済	日本共産党
6		大城 幼子	総務	公明党
7		野原 嘉孝	教育福祉	公明党
8	○	中村 圭介	厚生経済	無所属の会
9		上原 快佐	建設	沖縄社会大衆党

3班

	班長	議員名	所属委員会	所属会派
1		金城 徹	総務	新風会
2		桑江 豊	建設	公明党
3		屋良 栄作	厚生経済	なはの翼【無所属G】
4		翁長 俊英	議長のため所属委員会なし	
5		宮平 のり子	総務	社民・市民ネット
6		久高 友弘	建設	自民党
7		金城 眞徳	教育福祉	新風会
8		翁長 大輔	教育福祉	日本共産党
9	○	宮城 恵美子	厚生経済	社民・市民ネット

4班

	班長	議員名	所属委員会	所属会派
1	○	糸数 昌洋	厚生経済	公明党
2		花城 正樹	厚生経済	なはの翼【無所属G】
3		古堅 茂治	建設	日本共産党
4		瀬長 清	建設	なはの翼【無所属G】
5		知念 博	建設	
6		高良 正幸	総務	新風会
7		前田 千尋	教育福祉	日本共産党
8		下地 敏男	厚生経済	社民・市民ネット
9		粟國 彰	教育福祉	自民党

議会報告会における市民からの  
要望等の報告についての対応

平成28年12月作成

## 第7回 那覇市議会報告会

8月3日・4日、4会場で開催しました。

今回の議会報告会では、第5次那覇市総合計画策定事業、無電柱化推進事業、子どもの貧困対策への取り組み、健康な21について報告した後、各地域の課題として、なは市民協働プラザの利活用について、ひやみかちなはウォーク、那覇市民会館跡地利用、文化財資源と共存する首里のまちづくりの報告を行ないました。

その後、市民の方々と様々な意見を交わしました。今後の議会活動の参考にさせていただきます。



## 議会報告会の要望書を市長に手交

第7回議会報告会の内容をとりまとめた要望書を、翁長俊英議長から城間幹子市長に手交しました。(平成28年10月27日)  
執行部に対する重点要望事項の主旨は、左記のとおりです。

### ○重点要望事項

- 1 第5次総合計画に策定について  
歴史のある建物を残して豊かな文化都市を目指して欲しい。
- 2 道路行政について  
観光立県の県都である那覇市内の道路の雑草対策を検討して欲しい。
- 3 子どものための社会づくりについて  
公園内にある故障した遊具を早めに修繕して、子ども達がさらに憩える場として欲しい。
- 4 認可外保育施設について  
認可保育所と認可外保育施設の保育環境の格差是正を要望する。



## 議会報告会における市民からの要望の対応について、市長から議会に報告

去る8月に開催した第7回議会報告会に関する要望書に対する回答文書が、12月22日に城間幹子市長から翁長俊英議長に趣向されました。

第5次那覇市総合計画策定については、公募した市民で構成する「なは市民協働大学院」の機能と経験を活用するとともに、様々な市民意見を集約して策定に取り組んでいるなど、4要望事項の対応について回答がありました。



## 重点要望事項

	件 名	頁
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5次総合計画策定について</li> </ul> <p>① 第4次総合計画の中で、豊かな文化都市、文化の継承と発展とある。歴史的価値のある建築物を残して、豊かな文化都市、那覇市にしてほしい。</p> <p>② 第5次総合計画の市民案策定に携わっている「なは市民協働大学院」の受講生から、受講生30人を5つのグループに分けて市民案策定となると、少人数で市民案の策定することになるのではと不安である。もっと、多角的に市民意見が反映されるような総合計画にしてほしい。</p>	P1
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路行政について</li> </ul> <p>市内のいたるところで雑草が繁茂して、景観を損ねている。観光立県である県都那覇市としてふさわしい環境を保つため、市民と協働して対応してほしい。</p>	P3
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どものための社会づくりについて</li> </ul> <p>子どもと遊ぶために市内の公園にいくと、故障などで危険回避のために遊具が使用できない場合も多いが、早めに修繕を行ない、もっと子どもたちが憩える場所を那覇市内に数多くつくってほしい。</p>	P4
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認可外保育施設について</li> </ul> <p>認可保育所に預けられている子どもと認可外保育施設に預けられている子どもは、どちらも那覇市の子どもたちであるため、保育環境の格差が生じないようにしてほしい。</p>	P6

## 重点要望事項 1

### ・第5次総合計画策定について

- ① 第4次総合計画の中で、豊かな文化都市、文化の継承と発展とある。歴史的価値のある建築物を残して、豊かな文化都市、那覇市にしてほしい。
  
- ② 第5次総合計画の市民案策定に携わっている「なは市民協働大学院」の受講生から、受講生30人を5つのグループに分けて市民案策定となると、少人数で市民案の策定することになるのではと不安である。もっと、多角的に市民意見が反映されるような総合計画にしてほしい

### 対応（企画財務部部企画調整課）

- ① 第4次那覇市総合計画においては、市がめざすまちづくりの一つとして「文化の継承と発展」を位置づけており、体験機会などを通して、市民が郷土の歴史と文化への理解を深め、愛着と誇りを持つとともに、文化財や文化遺産が保存され、伝統芸能などの伝統文化が次世代に継承され発展していくことをめざして取り組んでおります。

現在、第5次総合計画の策定に取り組んでおり、本市における文化のまちづくりの方向性や目的を協議していくなかで検討して参りたいと思います。

- ② 第5次那覇市総合計画策定にあたっては、多くの市民参画を得たこれまでの総合計画を踏まえ、学生や事業者、各種団体の多層的な市民意見を集約し、公募市民で構成される「なは市民協働大学院」の機能と経験を活用し、市民との協働によるまちづくりを推進することを策定基本方針としております。

総合計画策定に多角的に市民意見が反映されるための取り組みとして、市民協働大学院では、より多くの意見を集約するた

め、幼稚園児の保護者及び中学生から大学生を含めた市民延べ5千人を対象としたアンケートを実施しております。

また、各分野でまちづくりに積極的に取り組んでいる福祉団体、ボランティア団体や企業へのアンケート及びインタビュー等を実施しております。

また、主管部局では、8月に市内全中学校から代表者が参加したワークショップを開催し、9月に公募に応じた学生が参加した高校生・大学生ワークショップを開催したところです。これから社会で活躍していく若い方々の発想や意見を取りまとめ、これらの意見等を市民協働大学院との共有化を図っております。

このように主管部局としても積極的な連携を図りながら、現在、市民協働大学院では、様々な市民意見を多層的に積み上げ、市民提案の策定に取り組んでいるところであります。

## 重点要望事項 2

### ・道路行政について

市内のいたるところで雑草が繁茂して、景観を損ねている。観光立県である県都那覇市としてふさわしい環境を保つため、市民と協働して対応してほしい。

### 対応（建設管理部道路管理課）

市内の道路につきましては、国道・県道・市道があり、それぞれの管理者が管理業務を行っております。

市道の除草につきましては、市内一円において、定期的に行っているところではありますが、雑草の生育が早く、対応に苦慮しているところでもあります。

そこで、現在106団体とボランティア協定を締結し、市民との協働により除草を含む道路美化活動の推進を図っているところでもあります。

今後もボランティア協定の締結を推進する等、市民との協働による道路美化により一層努めて参ります。

## 重点要望事項 3

### ・子どものための社会づくりについて

子どもと遊ぶために市内の公園にいくと、故障などで危険回避のために遊具が使用できない場合も多いが、早めに修繕を行ない、もっと子どもたちが憩える場所を那覇市内に数多くつくってほしい。

### 対応（建設管理部公園管理課）

高度経済成長期に集中投資した公園施設の老朽化が急速に進行しており、適切に維持管理していくことが重要な課題となっております。

本市が管理する遊具等の公園施設については、那覇市公園施設長寿命化計画を平成 25 年度に策定し、維持管理の方針や長寿命化対策を定め、国が支援する公園施設長寿命化対策支援事業に基づき、地域住民や利用者のご意見を伺いながら、遊具の撤去・更新を行っております。

遊具は最も重要な施設の一つであることから、専門技術者による年 1 回の定期点検を実施し、加えて、月 1 回程度の日常点検を行い、早期の修繕、補修等の計画が行えるようにしており、危険な場合には、直ちに使用禁止を行い事故防止に努めております。

同事業等により平成 23 年度から平成 27 年度にかけて、撤去した遊具が 128 基、更新した遊具が 76 基となっております。

現在、使用禁止となっている約 40 基の遊具については、平成 30 年度までに整備できるよう計画をしております。

平成 28 年度においては、宇久増公園等の 6 公園について、合わせて約 10 基の遊具を撤去、更新による整備を予定しております。

子供のための社会づくりとして、遊具等の公園施設が安全で安心して利用できるようにきめ細やかな維持管理に取り組み、公園が憩える場所となるよう今後とも努めてまいります。

## 重点要望事項 4

### ・認可外保育施設について

認可保育所に預けられている子どもと認可外保育施設に預けられている子どもは、どちらも那覇市の子どもたちであるため、保育環境の格差が生じないようにしてほしい。

### 対応（こどもみらい部こどもみらい課）

2016年4月1日現在で那覇市内の認可外保育施設には約3,500人の児童が入所しています。

那覇市では、認可外保育施設を利用する児童について、保育の質の向上や入所児童の処遇改善の観点から、施設をとおした給食費や内科・歯科健診料の助成、保育材料費の補助、施設設備の改修補助等で年間約4億円の支援を行っています。昨年度からは、認可保育所の待機児童で認可外保育施設に入所しているひとり親世帯に対する保育料支援事業も実施しております。

沖縄県は他県と比較して、認可外保育施設を利用している児童が多くいることから、那覇市としても認可外保育施設の保育の質の向上や入所児童の処遇改善、保護者の負担軽減等に資する支援の更なる充実が必要だと考えておりますので、今後とも、より効率的、効果的な支援の在り方について検討してまいります。

また、中核市の権限である認可外保育施設指導監督を通じた認可外保育施設の支援・指導を充実させることでも、保育環境の向上を図っていきたいと考えております